



令和8年2月2日

午前11時

## 藤沢交流施設（館ヶ森高原ホテル）を休館します

藤沢交流施設については、管理運営を行う指定管理者が決まらなかったことから、令和8年4月1日以降は休館とします。

- 1 経緯
  - ・ 市の指定管理施設である藤沢交流施設は、これまで株式会社 MangeTakk エンタープライズ（代表取締役 菅原喜哉）が管理運営を継続してきました。
  - ・ 同社との協定が、令和8年3月31日で満了することから、指定管理者の公募を行いましたが無応募がなく、同社からも応募がありませんでした。
- 2 今後について 施設の休館および今後の再開について、以下の取り組みを進めます。
  - (1) 休館中は、市が施設機能の保全に努める
  - (2) 観光振興や保養などの環境を維持するため、引き続き、民間による施設運営を目指して事業者を探していく
- 3 その他 詳しくは添付の資料を参照してください。



## 問い合わせ先

〒029-3405 岩手県一関市藤沢町藤沢字町裏 187

藤沢支所産業建設課 課長 岩渕

電話：(0191)63 - 5317 (ダイヤル)

FAX：(0191)63 - 5133

メールアドレス：hujisanken@city.ichinoseki.iwate.jp

## 藤沢交流施設（館ヶ森高原ホテル）の休館について

### 1 藤沢交流施設について

藤沢交流施設（館ヶ森高原ホテル）は、緑豊かな環境資源の活用による都市交流を促進し、地域産業の振興と地域の活性化を目的とした施設で、平成18年から指定管理者が施設を運営している。

### 2 施設の経過

平成11年7月 旧藤沢町が国の農村資源活用農業構造改善事業補助金を活用し、総合交流ターミナル（ファミリーオいわて藤沢）を整備。町はJR東日本と業務提携し、運営は藤沢町農業開発公社が行うことでスタートした。

平成15年4月 旧藤沢町の直営管理となる。

平成18年4月 ㈱館ヶ森高原ホールディングが指定管理者となる。

平成21年4月 ㈱<sup>マンゲタック</sup>MangeTakkエンタープライズが指定管理者となる。以降16年間、指定管理料は支払わずに指定管理を継続してきた（指定管理期間：～令和8年3月31日）。

### 3 施設の概要

施設内容	概要	利用時間	休館日
宿泊施設	構造：鉄筋コンクリート造一部2階建て 延床面積：1,431.11 m <sup>2</sup> 諸室等：客室18室（最大宿泊者数79人）、食堂、 研修室 駐車場：47台	客室 15:00～ 利用最終日の10:00 研修室 9:00～22:00	原則 水曜日、 木曜日
温浴施設	構造：鉄筋コンクリート造平屋建て 延床面積：308.13 m <sup>2</sup> 諸室等：休憩室（42畳）、浴室（男女各25人規模）、 脱衣室 湯質：準天然トロン温泉	日帰り利用 9:00～21:00 宿泊利用 15:00～22:00 6:00～9:00	
日帰り レストラン	営業時間 ランチ 平日11:30～13:30、土日祝日11:30～14:00 ディナー 18:00～20:00		

### 4 指定管理者の公募

平成21年4月から令和8年3月まで、公募2回及び更新2回を経た16年間、MangeTakkが指定管理者として藤沢交流施設を管理してきた。

直近では、令和5年度に指定管理期間3年で令和7年度を契約満了とした契約を締結した。令和7年度において、8年度以降の指定管理者の公募を進めた。

- ①募集期間 令和7年8月20日～9月19日
- ②募集概要
  - (1)募集团体：指定管理者候補団体
  - (2)指定期間：令和8年4月1日から令和11年3月31日まで 3年間
  - (3)業務内容：藤沢交流施設の運営、維持管理
  - (4)指定管理料：無し
  - (5)選定方法：プレゼンテーションに基づく評価方式
- ③公募結果 応募無し

## 5 今後について

現時点で指定管理者の応募がなく、施設の管理運営が困難な状況であることから、令和8年4月1日から休館せざるを得ない。

なお、施設の休館及び今後の再開について、下記の取組を進める。

- ①休館中は、施設機能の保全に努める。
- ②観光振興や保養などの環境を維持するため、引き続き、民間による施設運営を目指して事業者を探していく。